

市民の声を
国へ届ける
挑戦



自民党 公認 公明党推薦

衆議院議員候補 神奈川県第6区(保土ヶ谷区・旭区)

古川 **なおき**

SNSで
発信中!



人の「絆」を大切にする日本へ

市民の命・雇用・地域経済を守り抜く

1

感染症対策の徹底

- 自民党市議団長としてダイヤモンドプリンセス号の対応や、ワクチン予約コールセンター拡充等の経験から、市民目線の感染症対策を徹底
- 感染症対策と経済・社会活動は車の両輪。必要な人に、必要な医療や経済支援を素早く実施
- 新たな感染症に備え、病床確保体制の見直し、国と地方の連携体制等、法改正を含めた抜本措置を講ずる
- 自宅療養者へのカクテル療法や治療薬等の迅速な処方や、医師派遣体制を整え重症化予防を徹底

2

横浜発の政策を全国へ!

- 日産スタジアム「ネーミングライツ」導入を主導した「経営感覚」を国に持ち込む
- 横浜が全国に先駆けて導入したSDGs、脱炭素の先進事例を全国に発信し、日本の2050年カーボンニュートラルを実現
- 小学校建て替えの木造化・木質化を全国に広げ、国産材活用・植林保全の循環で日本の森と「木と紙の文化」を守る
- 親の「1日保育士体験」、学校教員の「企業派遣研修」で保護者・教員の相互理解や民間感覚の公教育への反映で、子どもの心に豊かな教育を

3



デジタル化



デジタル推進・「こども庁」創設で行政手続き 利便性の向上と、子育て世代の不安に寄りそう

- デジタル・グリーン(脱炭素・気候変動対策)の推進で新産業を育成し、富を生み出す
- 「こども庁」設置推進で、妊娠・出産・子育てに夢や希望を感じ、こどもの虐待防止対策や子育て支援の強化など、子どもが健やかに育つ社会をつくる
- 技術立国日本の復活を目指し、基礎研究への大幅な支援により5G、半導体、量子コンピューター、AIの開発を推進
- 医療・健康分野でデジタル変革を進め、健康寿命の増進と財政の安定を両立

4

つながり、支え合う社会をつくる

- 高齢者・障がい者などが支え、支えられ、ともに暮らす安心の地域社会をつくる。「移動の不便」の解消のためのデマンド・タクシー、AIコミュニティバス等への補助を強化
- 「患者・利用者第一」の目線で、充実した医療・介護・福祉を構築
- 社会的孤立・孤独の中にある「声を上げられない人」や「助けを求める人」へ、官民一体で息の長い支援を実施
- コロナ禍で希薄になった地域のコミュニティ・伝統・お祭り等を盛り上げる

5

国民の生命と財産、国土と主権を守る

- 日本を守る責任と未来を拓く覚悟で、我が国の皇室・伝統・文化を守り抜く
- 日米同盟を軸に、自由・民主主義・基本的人権・法の支配などの基本的価値を共有する国・地域との連携を強化。日米豪印(QUAD)を深化し、島しょ防衛に万全を期す
- サプライチェーンの強靱化、先端技術の海外流出規制強化等を通じて、「経済安全保障」を実現
- 立党の精神に立ち、新たな時代にふさわしい憲法改正を目指す

古川なおき
プロフィール

自民党衆議院神奈川6区
(保土ヶ谷区・旭区)支部長

- 1968年8月31日「野菜の日」生まれ
- 希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- 横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市議員26歳最年少当選(7期・26年間)
- 自民党横浜市議団団長、政務調査会長を歴任

- 希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事
- 旭区サッカー協会 顧問 / 旭区卓球協会 顧問
旭区スポーツダンス協会 顧問
旭区剣道連盟 顧問 / 旭区食品衛生協会 顧問
- 好きなスポーツ・武道
サッカー、卓球、学生野球観戦、合気道、ゴルフ
- 2018年横浜マラソン完走(5時間8分)



駅に立ち、声を聞き続けた26年間——いよいよ国政へ



1期目 26歳
1995 - 1998

「地盤・看板・カバン」なしで横浜市議へ
学生ボランティアと共に初当選



2期目 30歳
1999 - 2002

民間の経営感覚を役所へ!
横浜市職員の名刺を公費化して責任感を醸成



3期目 34歳
2003 - 2006

横浜市議会定数6人削減
市財政のため、政治家自ら身を切る改革



4期目 38歳
2007 - 2010

「ネーミングライツ」導入加速
福祉を支える財源を市の広告募集で賄う



5期目 42歳
2011 - 2014

**「マニフェスト大賞」にて
グランプリ受賞**
8本の議員提案条例で、市民生活を向上!



6期目 46歳
2015 - 2018

**自民党政調会長として
各種団体要望に向き合う**
歯科口腔保健推進条例の制定で、歯の健康づくり



7期目 50歳
2019 - 2021

**自民党横浜市議団長として、
コロナ対策に邁進**
「ファストドクター」と横浜市をつなげ、市民の不安軽減へ



古川なおきの実績

「日産スタジアム」ネーミングライツを導入!

世界で唯一、3つの世界的大会の決勝戦(2002年サッカーW杯、2019年ラグビーW杯、2021年オリンピック男女サッカー)が行われた日産スタジアム。今では当たり前前の「ネーミングライツ(命名権)」の導入を、古川なおきが最初に提案し、実現しました。



「横浜市コールセンター」設置!

古川なおきが2002年に提案し、市民の皆さまからの質問・疑問にお応えする「横浜市コールセンター」を設置。2004年から市政情報、生活情報、最新のイベント情報などをご案内しています。



「万騎が原小学校」の木造化!

万騎が原小学校で予定されている建て替えにおいて、横浜で戦後初めての木造校舎への建て替えを提案。子どもたちが日本の「木と紙の文化」を大切に、楽しく誇りをもって成長することを期待しています。



横浜市と国をつなぐ!

継続して取り組みます!

☑ 鶴ヶ峰駅付近 連続立体交差事業の加速化

相鉄線西谷駅から二俣川駅までの10本の踏切を除去できる、鶴ヶ峰駅付近の連続立体交差事業を推進。事業費約780億円のうち、国費から約400億円の支出が見込まれます。早期実現に向け全力で取り組みます。



☑ 国際園芸博覧会(2027年)の成功を

2027年の国際園芸博覧会の招致を自民党として働きかけ、実現しました。横浜・上瀬谷にしかない咲き誇る花々、濃い緑を活かした時間・空間・価値を、世界の皆様と共有すべく、成功に向けて邁進します。



古川なおきへの期待の声



学生ボランティア代表の中川颯土です。26年間、直季さんは学生とともに駅頭活動を行い、インターンOBは500人を超えます。いつもひたむきな直季さんを心から応援しています!(中央が私)



直季さんは、いつもお会いしても明るく元気。地域の夏祭りにもよくお越しいただきます。いつまでも変わらないそのまの直季さんで、これからも頑張ってください!



2018年
横浜マラソン完走
(5時間8分)

古川なおき選挙事務所

頒布責任者:兵藤哲夫 横浜市旭区東希望が丘14-9
横浜市旭区二俣川1-4-3 TEL 045-391-4000 印刷者:株式会社大川印刷 横浜市戸塚区上矢部町2053

証紙